志木市歴史館オープン

皆さんは、普段暮らしているこのまちが、どのように成り立ってきたのかをご存じでしょうか。

志木市には、土器や石器、古文書など昔の人々の暮らしを今に伝える資料が数多く残されています。10月26日の市制施行記念日にオープンした志木市歴史館では、それらの資料を、見て、触れて、学ぶことができます。

今月は、志木の“むかし”“いま”“みらい”をつなぐ志木市歴史館の魅力を紹介します。

問合せ 志木市歴史館　☎048(473)8157



AR動画

①AppStoreまたはGooglePlayにて「COCOAR2」をインストール
②アプリを起動後、「AR動画」マークがある写真にカメラをかざしてください。

志木の歴史を未来へつなぐ場所

志木市歴史館は、郷土資料館と埋蔵文化財保管センターを一つにまとめ、郷土資料を守り、生かすための拠点として誕生しました。市民の皆さんとともに、先人が築き残してきた志木の歴史や文化を受け継ぎ、新たな魅力やにぎわいを生み出していく施設を目指しています。

館内は「ふれあいホール」「展示室」「収蔵室」の3つの空間で構成されています。人が集い交流する場、志木のあゆみに触れる場、資料を大切に保管する場として、それぞれの役割を担い、志木の歴史を次の世代へ伝えていきます。

身近なまちの成り立ちに触れ、ふるさとの未来に思いをめぐらせる。そんな時間を歴史館で過ごしてみませんか。

歴史館をのぞいてみよう

ふれあいホール

～郷土資料でつながる「にぎわいの場」～



木を基調とした温かな雰囲気のふれあいホールは、郷土資料を題材にした体験学習やミニ企画展、講座、自主学習ができるスペースです。

児童・生徒、子育て世代など、誰もが郷土資料を通じてつながり、交流できる場所を目指しています。

体験学習コーナーで実際に触れてみよう！

歴史館の体験学習コーナーでは遺跡から出土した本物の土器（破片資料）に触れることができます。ぜひ手に取っていただき、土器の厚みや重さを感じてみてください。また、縄を粘土の上で転がして縄目模様をつける「文様つけ体験」や、本物そっくりな土器を組み立てる「土器パズル」といったコーナーも用意しています。普段はできない体験に、チャレンジしてみてください！

本物の土器に触れる！



文様つけ体験



土器パズル





収蔵室

～志木の歴史を後世に残す～

収蔵室では、市内で見つかった土器や石器、古文書など志木の歴史を伝える貴重な資料を一元的に管理し、大切に保管しています。移動棚の導入により保管スペースを確保したほか、古文書用の収蔵室を設けるなど、資料の特性に合わせた環境を整えています。

展示室を見学してみよう

通史展示

旧石器時代から現代までの歴史を考古資料と文献資料で解説します。市内最古の石器をはじめ、弥生時代の動物形土製品、中世の「柏の城」の発掘調査成果、近代の東上鉄道関連の資料など、志木の歴史を物語る貴重な資料を展示しています。



▲通史展示の様子



▲市内最古の石器群（左端は打製石斧）
時代：後期旧石器時代初頭（約36,000年前）
出土地：中道遺跡（柏町5丁目）



市指定文化財

▲動物形土製品
時代：弥生時代後期～古墳時代前期（約1,800年前）
出土地：西原大塚遺跡（幸町3丁目）



展示品は志木の本物!

テーマ展示

志木の歴史を語るうえでキーワードのひとつとなるのが「水」です。いろは樋や舟運、水塚（みづか）など水の恵みを受けながらも水害と戦ってきた志木市特有の歴史・文化を紹介します。



▲いろは樋
時代：明治30年前後（1897年前後）

館長のおすすめ

人面把手付土器（じんめんとってつきどき）（市指定文化財）

土器は煮炊きや貯蔵の道具と言われていますが、その土器の縁に人の顔とヘビの顔が対面し合う大きな把手が付けられています。現代の私たちでは考えつかないような装飾です。まさに縄文人の思いが表現された土器ではないでしょうか。ぜひ実物をご覧いただき、縄文人の思いを感じ取ってみてください。



時代：縄文時代中期（約4,500年前）
出土地：西原大塚遺跡（幸町3丁目）

モニターで展示をもっと楽しもう

展示室には11台のモニターを設置し、資料の解説や芸能の映像を公開しています。
また、中央の大型モニターでは、デジタル化した資料をタッチパネルで拡大して見ることができます。



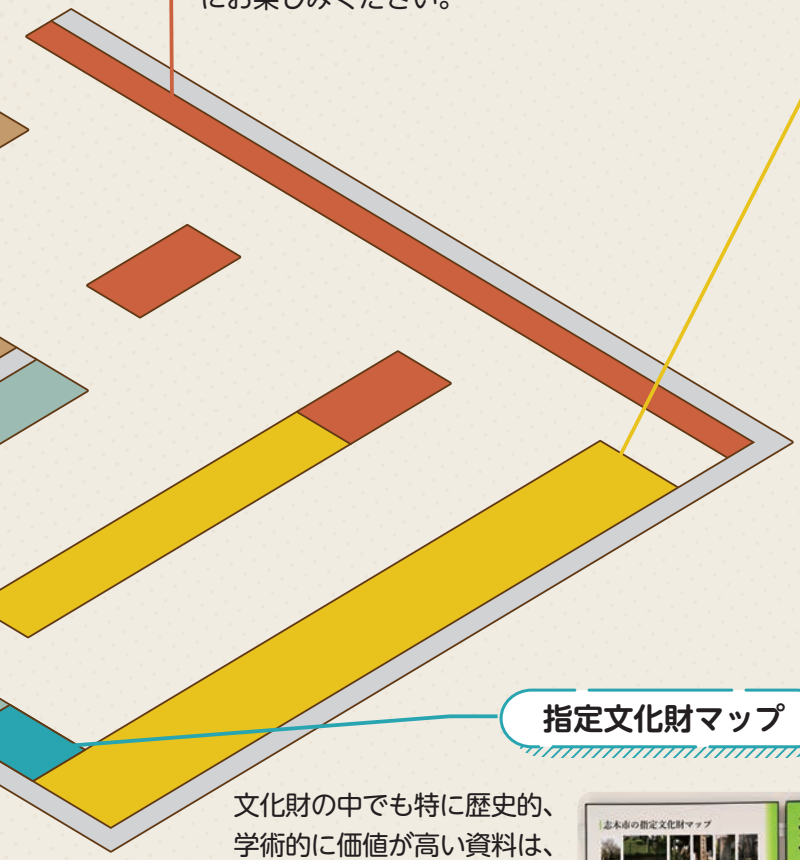
民俗展示

テーマを「つくる」「いのる」「つどう」の3つに分け、農業や商業、年中行事や民間信仰、郷土芸能など、志木に生きる人々の暮らしぶりを紹介しています。
お囃子（はやし）などの郷土芸能は映像で見ることができますので音色とともにお楽しみください。


▲田下駄



▲民俗展示の様子



企画展示

国指定重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」について展示しています。富士信仰の成り立ちから、令和7年度の保存活用計画策定までを紹介し、田子山富士塚のこれからを考えるきっかけとなる展示です。



▲富士講用具及び関連資料


▲企画展示の様子

指定文化財マップ

文化財の中でも特に歴史的、学術的に価値が高い資料は、国や市が指定し、保護しています。現在、市内には国指定文化財1件、国登録文化財7件、市指定文化財37件があります。
このコーナーでは館外にある市指定文化財をマップで紹介します。



公式Xで情報発信中!

志木市の文化財【公式】▶

志木市の文化財の公式Xで、歴史館の展示やイベント、お知らせ、収蔵資料の情報など随時情報を発信していますので、ぜひフォローしてください！

志木市歴史館の概要

開館時間	9時30分～16時30分
休館日	月曜日（祝休日の場合は翌平日）、年末年始、館内整理日（毎月末日で、日・月・土曜日または祝休日の場合はその前日）、特別整理期間
所在地	柏町1-20-19（第二福祉センター前）
入館料	無料
駐車場	3台

